



2001年12月10日

「ニュービートル カップ ジャパン 2002」開催に関して

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉)は、輸入車初のJAF公認ナンバー付き車輛によるワンメークス レースとして、2000年度から開催している“ニュービートル カップ ジャパン”の、2002度の開催内容について、レース運営組織であるV・T・A (フォルクスワーゲン トロフィー アソシエーション)と共に、その概要を決定しました。

ニュービートル カップ ジャパンの2002年度の主な内容は、レース回数を昨年同様の年5戦とし、新たな取り組みとして「参加資格の上限」を削除しました。その代わりに「エキスパートクラス」「クラブマン クラス」を創設し、レース経験豊かなドライバーからビギナー ドライバーまでの幅広いエントラントが、イコール コンディションのクルマで混走。これによって、お互いにテクニックを競い合うのは勿論のこと、ビギナー ドライバーは、上級者のレース スキルを実戦を通して体験することが可能となります。また車輛面では、レース用ショックアブソーバー、大型ブレーキローター、リミテッド スリップデフ、バケットシートなどの追加変更。そして、レース用中古車輛の販売及びレース参戦についての検討を進めており、これらの詳細に付きましては、レース開催までにその全てを決定する事にしています。

2001度におけるニュービートル カップ ジャパンは、5月のセントラルパーク ミネ サーキット(山口県美祢市)を皮切りに、第二戦の鈴鹿(6月)、第三戦の筑波(7月)、第四戦のツインリンク もてぎ(9月)、そして、輸入車インポーターとしては最大級で、今年で2年目となるカスタマーイベント“フォルクスワーゲン フェスト イン フジ”と併催された富士スピードウェイでの最終戦と、合計で全国5ヶ所を転戦。各地のサーキットにおいて、ニュービートル カップ ジャパンの楽しさと、モータースポーツを通してフォルクスワーゲンの優秀性と耐久性をアピールして参りました。また今年、新たに追加導入されたカップカーがレースに加わったこともあり、各レースでは、昨年以上のエントラントと出走台数がサーキットに現れ、開催2年目となるレース シリーズを多いに沸かせてきました。

2002年度 ニュービートル カップ ジャパン レース スケジュール (暫定)

回数	日時	所在地	場所
第1戦	3月17日(日:予選+決勝)	茨城:筑波	筑波サーキット
第2戦	5月18日(土:予選)、5月19日(日:決勝)	山口:美祢	セントラルパークMINEサーキット
第3戦	7月6日(土:予選)、7月7日(日:決勝)	三重:鈴鹿	鈴鹿サーキット
第4戦	8月18日(日:予選+決勝)	茨城:筑波	筑波サーキット
第5戦	9月14日(土:予選+決勝)	静岡:御殿場	富士スピードウェイ